

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスまりも平野東		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感を持って通所できていること	利用者が安心して過ごせるように定期的なカンファレンスを行っている	定期的なカンファレンスを維持しながら、支援内容の改善や新しいアイディアを取り入れていく
2	スタッフ間で円滑なコミュニケーションを図っていること	ICTを活用し情報共有を行っている	よりスタッフが使いやすいICTを吟味し活用していきたい
3	子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制が整備されていること	送迎時や連絡帳を使い保護者から家庭での様子や困り感を聴けるようにしている	トラブルが発生した時に対応できるようスタッフ間で情報を共有し対応していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内での活動に偏りがちで、外部との接点が少ないこと	外部との連携を構築するためのスタッフの負担が増えることを懸念して、地域活動への参加が難しくなっている	施設外の公園や美術館、商業施設などに外出し、公共の場でのマナーやコミュニケーションスキルを育む機械を増やしたい
2	日常的活動におけるマンネリ化	平日においては活動内容が固定化されがちで、夏場においては熱中症を警戒して外出がなかなか難しい	活動に季節感やテーマ性を持たせ、子どもたちが新しい経験を提供できる環境を整えたい
3	子どもたちへの支援の在り方がスタッフによって違うことが時折見られる	利用者の来所歴が長くなっているため情報の更新が不十分であったり、新しい利用者の情報共有が遅れる場合がある	支援方法や子ども一人一人の対応について情報共有の仕組みを強化し、一貫性を持った対応をできるようにしたい